

## 4章 - 羅盤 (Luopan : 中国語ではローパン) の使用方法

羅盤を使うことは風水鑑定で氣を分析する際の鍵になります。そして正確に方位を測ることが必須条件です。羅盤による不正確な方位測定は誤ったレメディ (改善法) を適用することになり、それによって間違った結果を引き起こす原因にもなりかねません。

### 目的

1. 羅盤とは何か、また異なったタイプの羅盤があることを理解する
2. 羅盤の各部分を理解する
3. 羅盤の正しい鑑定方法を理解する
4. 羅針盤の取り扱いを理解する



上記の写真は旧式の羅盤であり、いくつかの同心円が描かれています。羅盤は元来は四つの方位を測るための道具でした。

もともと羅盤は、磁気を帯びたサジがプレートの上うまくバランスをとって乗っており、方位を示していました。それが後に磁界を示す磁針になり、平らな文字盤へと進化していきました。そこには方位のほか他の情報も加えられました。

この新しい羅盤に八卦が加えられ、その後新たに六十四卦が加えられ、やがて中国占星術の基本となる十干十二支も付け加えられました。羅盤には五行と天体が説明されています。時間をかけ洗練された道具となった羅盤は、上の写真で示すように風水には直接関係のない情報も多く書かれており、風水だけの為に使用するには、複雑になってきました。

